２００８年3月期　期末決算説明会

2008年5月20日（火）

日本ハム株式会社

Nippon Ham Group
人輝く、食の未来

目　次

1．2008年3月期　期末連結業績の総括

2．2009年3月期の課題と対策

3．2008年3月期　期末財務データ

Nippon Ham Group
人輝く、食の未来

2008年3月期　期末連結業績の総括

1. 2008年3月期　期末連結業績概要
2. 2008年3月期　期末連結業績概要《所在地別セグメント状況》
3. 2008年3月期　期末連結業績ハイライト
4. オペレーティング･セグメント情報
5. 営業利益の期末実績前年差および通期修正計画差の要因分析
6. オペレーティング･セグメント情報　加工事業本部
7. オペレーティング･セグメント情報　食肉事業本部
8. オペレーティング･セグメント情報　関連企業本部
9. 海外　主要地域別業績実績

Nippon Ham Group
人輝く、食の未来

2008年3月期　期末連結業績概要

（単位：百万円、%）

≪連結業績≫	2007年3月期実績			2008年3月期実績						2009年3月期計画			
	中間期	下期	通期	中間期	前年比	下期	前年比	通期	前年比	中間期	前年比	通期	前年比
売上高	485,388	491,908	977,296	506,448	4.3	525,843	6.9	1,032,291	5.6	520,000	2.7	1,060,000	2.7
ハム･ソーセージ	63,634	68,353	131,987	64,131	0.8	68,689	0.5	132,820	0.6	65,000	1.4	134,500	1.3
加工食品	92,438	91,882	184,320	92,387	△ 0.1	93,347	1.6	185,734	0.8	93,000	0.7	187,000	0.7
食肉	252,269	258,426	510,695	273,660	8.5	284,309	10.0	557,969	9.3	284,000	3.8	579,000	3.8
牛肉	104,092	102,011	206,103	107,587	3.4	105,743	3.7	213,330	3.5	110,500	2.7	220,000	3.1
豚肉	95,110	101,137	196,247	107,383	12.9	109,053	7.8	216,436	10.3	113,000	5.2	227,000	4.9
鶏肉	40,589	46,119	86,708	48,148	18.6	58,521	26.9	106,669	23.0	50,000	3.8	110,000	3.1
その他食肉	12,478	9,159	21,637	10,542	△ 15.5	10,992	20.0	21,534	△ 0.5	10,500	△ 0.4	22,000	2.2
水産	44,134	39,219	83,353	42,218	△ 4.3	44,008	12.2	86,226	3.4	43,000	1.9	87,500	1.5
乳製品	10,929	10,903	21,832	10,637	△ 2.7	11,487	5.4	22,124	1.3	11,000	3.4	23,000	4.0
その他	21,984	23,125	45,109	23,415	6.5	24,003	3.8	47,418	5.1	24,000	2.5	49,000	3.3
売上原価	395,588	394,221	789,809	414,614	4.8	428,393	8.7	843,007	6.7				
売上総利益	89,800	97,687	187,487	91,834	2.3	97,450	△ 0.2	189,284	1.0				
売上総利益率	18.5%	19.9%	19.2%	18.1%	△ 0.4	18.5%	△ 1.4	18.3%	△ 0.9				
販売費及び一般管理費	83,819	87,246	171,065	85,749	2.3	86,044	△ 1.4	171,793	0.4				
営業利益	5,981	10,441	16,422	6,085	1.7	11,406	9.2	17,491	6.5	9,000	47.9	20,000	14.3
税引前利益	4,453	9,215	13,668	△ 429	-	5,352	△ 41.9	4,923	△ 64.0	5,000	ー	14,000	184.4
当期純利益	2,533	8,853	11,386	△ 2,229	-	3,784	△ 57.3	1,555	△ 86.3	2,500	ー	7,500	382.3

＊米国会計基準を組替えて表示しております。
＊前年比は、対前年増減率で表示しております。

Nippon Ham Group
人輝く、食の未来

2008年3月期　期末連結業績概要《所在地別セグメント状況》

（単位：百万円、%）

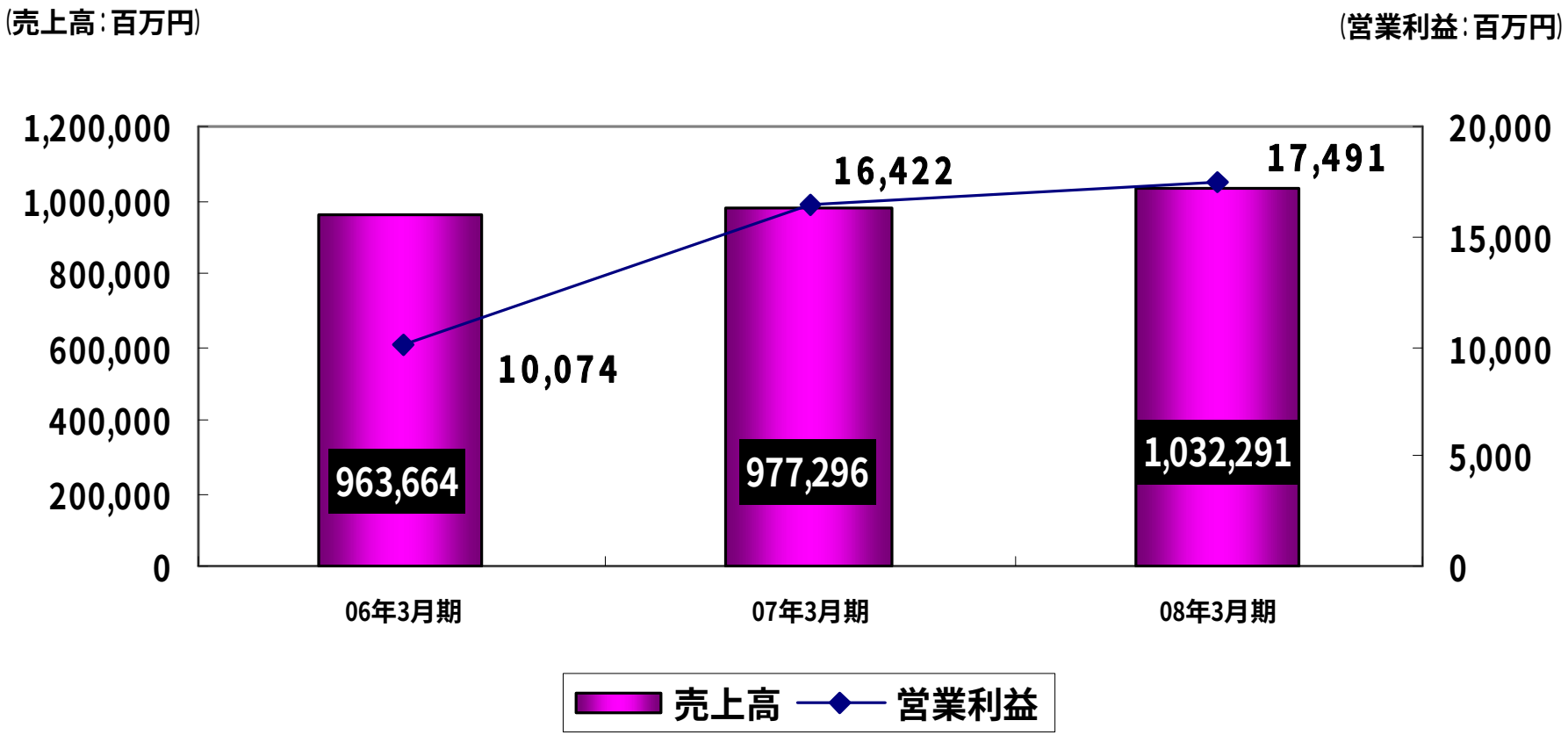
≪連結業績≫	2007年3月期実績						2008年3月期実績						2009年3月期計画			
	中間期	前年比	下期	前年比	通期	前年比	中間期	前年比	下期	前年比	通期	前年比	中間期	前年比	通期	前年比
国内売上高	438,817	0.6	445,020	0.8	883,837	0.7	455,741	3.9	481,114	8.1	936,855	6.0	468,500	2.8	963,000	2.8
国内営業利益	6,290	△ 9.3	10,574	159.2	16,864	53.1	8,147	29.5	13,906	31.5	22,053	30.8	-	-	-	-
国内売上高営業利益率	1.4%	△ 0.2	2.4%	1.5	1.9%	0.6	1.8%	0.4	2.9%	0.5	2.4%	0.5	-	-	-	-
海外売上高	91,154	10.8	91,609	2.1	182,763	6.2	97,865	7.4	90,011	△ 1.7	187,876	2.8	99,500	1.7	192,000	2.2
海外営業利益	△ 232	-	△ 376	-	△ 608	-	△ 2,318	-	△ 2,404	-	△ 4,722	-	-	-	-	-
海外売上高営業利益率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

＊米国会計基準を組替えて表示しております。
＊所在地別セグメント状況の売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。
＊前年比は、対前年増減率で表示しております。

Nippon Ham Group
人輝く、食の未来

期末連結業績ハイライト

【売上高　営業利益推移】



Nippon Ham Group
人輝く、食の未来

◆オペレーティング・セグメント情報

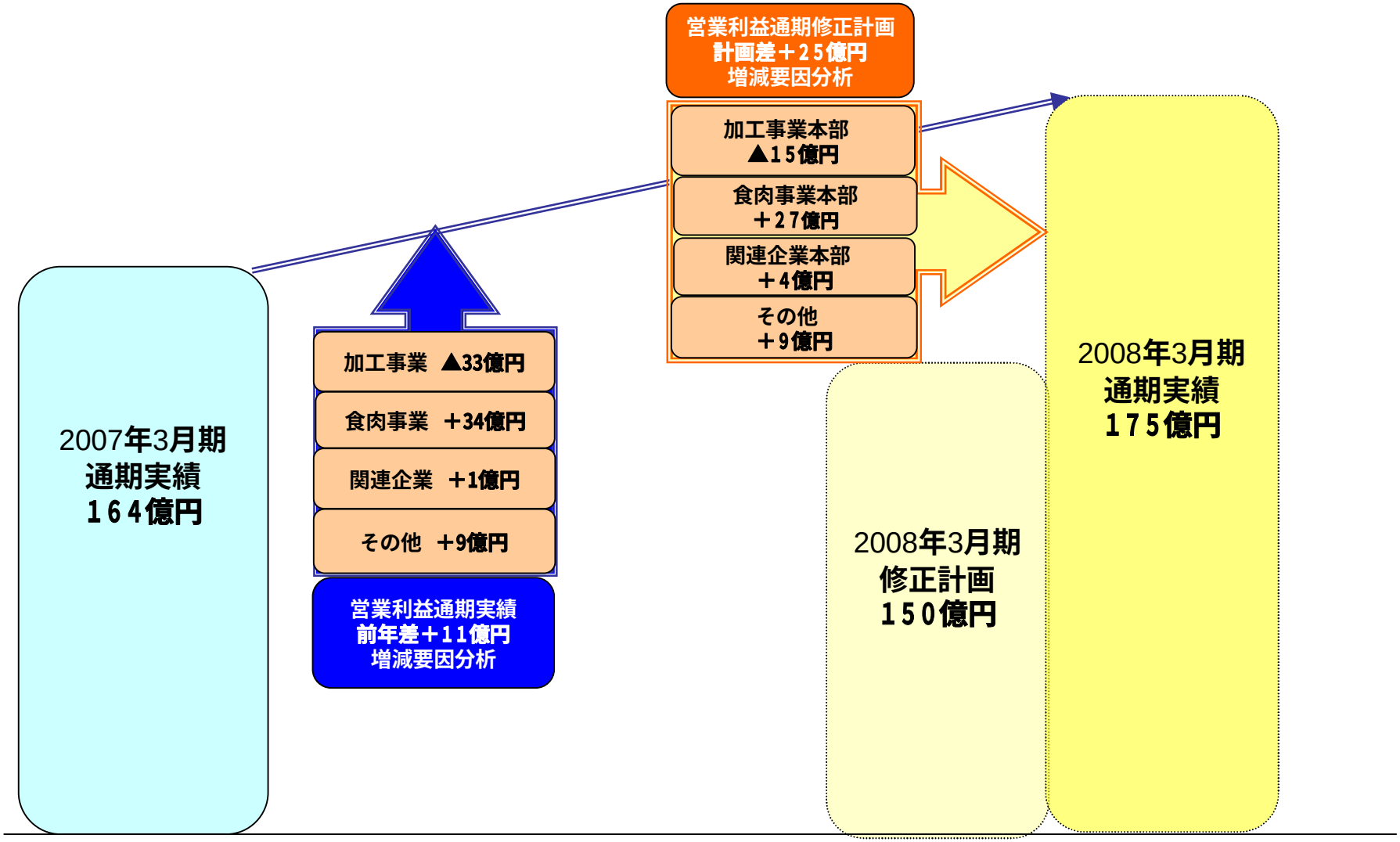
(単位：百万円・%)

	2007年3月期実績			2008年3月期実績		
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
加工事業本部	312,600	5,618	1.8	319,468	2,296	0.7
食肉事業本部	631,348	11,580	1.8	681,344	14,971	2.2
関連企業本部	160,770	▲ 683	-	162,195	▲ 620	-
消去・調整他	▲ 127,422	▲ 93	-	▲ 130,716	844	-
連結合計	977,296	16,422	1.7	1,032,291	17,491	1.7

※オペレーティング・セグメント情報の売上高と、当資料P.3の品種別の売上高の数値は一致しません。
※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。

Nippon Ham Group
人輝く、食の未来

営業利益の期末実績前年差および通期修正計画差の要因分析



Nippon Ham Group
人輝く、食の未来

【加工事業本部】

（単位：百万円・%）

	2007年3月期 通期実績	2008年3月期 通期実績	前年差	増減率
売上高計	312,600	319,468	6,868	2.2
営業利益	5,618	2,296	▲ 3,322	▲ 59.1

【売上高の状況】
・ハム・ソーセージ、加工食品とも、コンシューマー用については前年を上回ったが、業務用が苦戦。
・2007年9月からの価格改定により、販売数量は低下したが、単価上昇の効果で、加工事業トータルでは対前年増減率2.2%の増収。

【営業利益の状況】
・想定を大きく上回る原料価格、資材価格、燃料価格の高騰があり苦戦。
・業務用チャネルにおいて、市場競争の激化により、販売数量と単価が低下。
・価格改定を実施したが、コスト上昇額を吸収しきれず、加工事業トータルでは対前年増減率59.1%の減益。

【食肉事業本部】

（単位：百万円・%）

	2007年3月期 通期実績	2008年3月期 通期実績	前年差	増減率
売上高計	631,348	681,344	49,996	7.9
営業利益	11,580	14,971	3,391	29.3

【売上高の状況】
・全体的に、食肉相場が安定的に推移。特に鶏肉は、国産、輸入とも高値で推移。
・食肉事業トータルでは、対前年増減率7.9%の増収。

【営業利益の状況】
・国産志向を受け、特に国産の鶏肉、豚肉の収益の貢献により大幅増益。
・豪州牛肉事業が穀物飼料価格の高騰などの影響を受け苦戦したが、中間期以降は生産部門のコスト削減効果などにより、改善傾向。

Nippon Ham Group
人輝く、食の未来

【関連企業本部】

（単位：百万円・%）

	2007年3月期 通期実績	2008年3月期 通期実績	前年差	増減率
売上高計	160,770	162,195	1,425	0.9
営業利益	▲ 683	▲ 620	63	-

【売上高の状況】
・マリンフーズは、魚価高と中国産原料（特に鰻）の敬遠などの影響があったが、スシねたや蟹の売上などが好調で増収。
・宝幸は、チーズ事業などが比較的好調に推移したが、水産事業が原料原産国の資源管理強化の影響を受け、トータルでは減収。
・日本ルナは、秋以降に投入した新商品が好調であったが、上期に投入した新商品の不調をカバーしきれず減収。

【営業利益の状況】
・水産、乳製品、その他加工品ともに、原材料価格の高騰などにより、各社とも非常に厳しい状況。
・中間期以降は、水産、乳製品とも価格改定の効果などにより改善傾向。特にマリンフーズは12月商戦が好調だった。

Nippon Ham Group
人輝く、食の未来

【海外　主要地域別売上高】

（単位：百万円・%）

	2007年3月期 通期実績	2008年3月期 通期実績	前年差	増減率
海外売上高計	182,763	187,876	5,113	2.8
豪州	86,416	83,291	▲ 3,125	▲ 3.6
米州	71,555	76,614	5,059	7.1
その他地域	24,792	27,971	3,179	12.8

※売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。
※海外売上は、豪州と米州で約80%前後を占めております。その他海外は、アジア、欧州となっております。
※米州には、北米と南米の事業が含まれます。

【海外　主要地域別の売上高の状況】
・豪州は、牛肉販売数量の減少などにより減収。
・米州は、養豚事業の拡大に伴う出荷頭数の増加などにより増収。

【地域別利益の状況】
・豪州は、穀物飼料価格の高騰などにより減益。
・米州も、養豚事業の飼料価格高騰と、現地生体相場の伸び悩みなどにより減益。

Nippon Ham Group
人輝く、食の未来

2009年3月期の課題と対策

1.2009年3月期　計画・目標数値

2.中期経営計画PartⅡ　売上高の進捗状況

3.中期経営計画PartⅡ　営業利益の進捗状況（乖離要因分析）

4.加工事業本部　課題と対策

5.食肉事業本部　課題と対策

6.食肉事業本部　豪州事業の改革プラン

7.関連企業本部　課題と対策

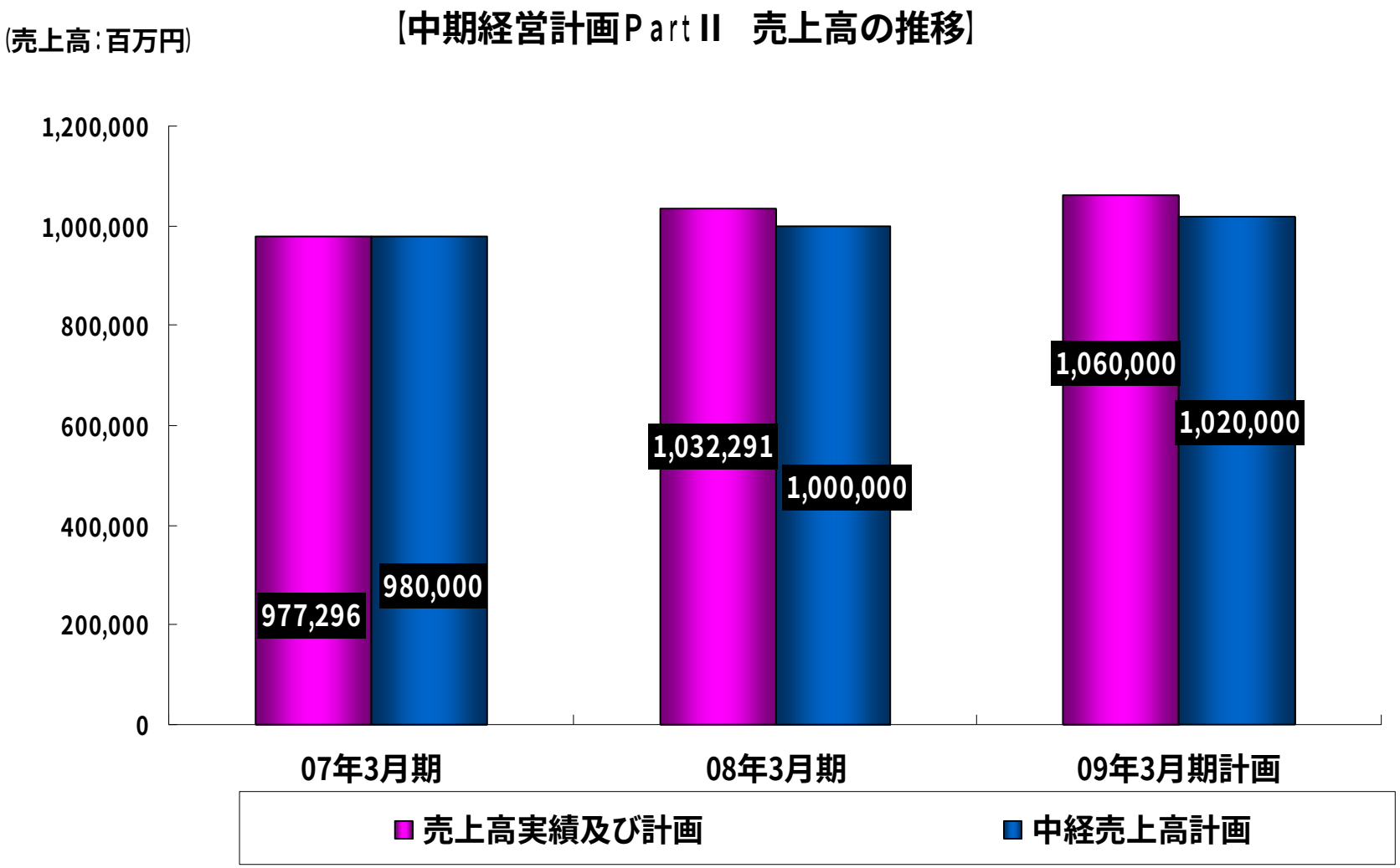
Nippon Ham Group
人輝く、食の未来

【2009年3月期　売上･利益計画、経営目標数値】

○売上高	1,060,000百万円 (前年比＋2.7%)
○営業利益	20,000百万円 (前年比＋14.3%)
○税引前利益	14,000百万円 (前年比＋184.4%)
○当期純利益	7,500百万円 (前年比＋382.3%)
○ROA	2.3%

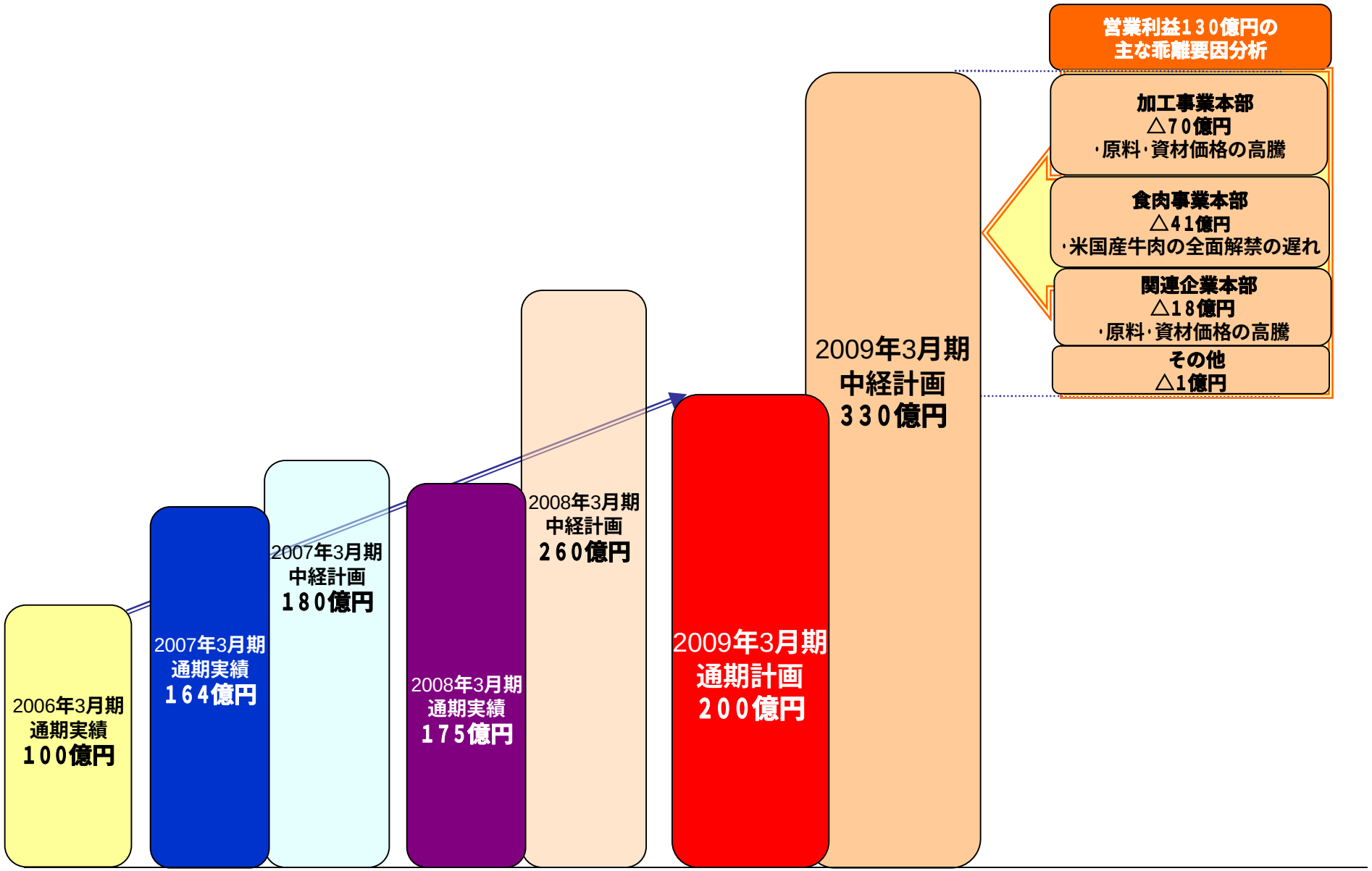
Nippon Ham Group
人輝く、食の未来

中期経営計画Part II　売上高の進捗状況



Nippon Ham Group
人輝く、食の未来

中期経営計画Part II　営業利益の進捗状況（乖離要因分析）



Nippon Ham Group
人輝く、食の未来

加工事業本部　課題と対策

●課題1．売上の拡大

・主力ＮＢ商品販売の強化

【08年3月期　主要ブランド商品売上高前年比】

シャウエッセン群	108%	中華名菜群	97%
森の薫りウィンナー	122%	石窯工房群	120%
ウィニー群	97%	プリフライ群	96%
これは便利群	126%	ハンバーグ・ミートボール群	96%

・高付加価値商品による差別化戦略

【ギフト販売個数　08年3月期実績と09年3月期目標】

(単位：千個・%)

	08年3月期実績	前年比	09年3月期目標	前年比
中元	1,600	108%	1,692	106%
歳暮	4,512	101%	4,828	107%
合計	6,112	103%	6,520	107%

・業務用チャネルの改善

【加工事業本部　チャネル別売上金額構成比】

	コンシューマー	業務用	計
ハム・ソーセージ	77%	23%	100%
加工食品	51%	49%	100%

●対策

・全国的には、主力ブランドに集中した販売を実施する。
・エリア戦略では、営業力の強化を図り、各エリアごとのニーズに適した商品やサービスを提供し、得意先の課題解決を図ることでトップパートナーとなり、シェア拡大を図る。

・「美ノ国」ギフト、「北海道プレミアム」を中心とした自社農場原料限定商品による高付加価値戦略を展開する。

・価格競争に陥りやすい『価格対応型の営業』から、業務用のセグメントを選択・集中した上で、『価値提案型営業』への転換を図り、利益確保に努める。
国内製造の業務用ＮＢ商品を軸に、価値ある商品と、売り方を提案する。

●課題2．主原料・副資材価格の高騰額見込み

・前期に引き続き、
①豚肉、鶏肉を中心とした主原料価格
②油、チーズ、小麦粉などの副資材価格
③燃料、運賃などのエネルギーコストが高騰。

	2009年3月期見込み
主原料価格上昇額	22億円
資材価格・物流費等上昇額	44億円
合計	66億円

・年間の高騰額は、約66億円となる見込み。

●課題3．コスト吸収政策

・製造部門を中心とした経費削減政策の継続

・品種統廃合の実施

・2007年9月実施と、2008年6月実施予定の価格改定効果

	2009年3月期見込み
品種統廃合効果額計画	4億円
製造部門の改善活動効果額計画	25億円
価格改定効果額計画	47億円
営業部門の構造改革効果額計画	7億円
合計	83億円

・年間約83億円の効果額で、コスト上昇額を吸収する。

Nippon Ham Group 人輝く、食の未来

食肉事業本部　見通し

●課題1．海外事業の見通し

◆豪州事業の改善　⇒　P18を参照

◆米州事業の見通し
・とうもろこしを中心とした飼料価格の高騰

・米国全体での需給バランスの悪化による
豚肉相場の伸び悩み

・飼料価格の高騰は、とうもろこしを中心に続く見通し。

・新年度に入り、米国内の豚肉の需給調整が進み、
相場は回復基調にある。

●課題2．国内生産事業の見通し

・飼料価格の高騰

・国内ファーム会社における生産量の拡大

・今後の相場の見通し

・飼料価格は、前年以上に高騰する見通し。

・消費者の国産志向に対応し、特に需要が高まっている
鶏・豚について、生産数量の拡大を図る。

・安全・安心の面からも国産志向が高まっており、当面は
高値安定で推移する見通し。

●課題3．国内販売事業の戦略
・国内販売量の拡大

【食肉事業　推定畜種別国内シェア】

牛肉	19%
豚肉	18%
鶏肉	22%
合計	20%

（推定シェアは、弊社販売数量／国内供給量で算出）

・量販店チャネルの販売強化

・調達力、供給力、販売力を活かし、シェアアップを図り、
中長期的にはシェア30%を目指す。

・ブランド食肉の展開を推進し、差別化を図る。

・フード・アドバイザーを活用した提案営業を強化する。
・各量販店への専任担当者の配置を実施する。
・生・工・販一体となった販促活動を展開する。

Nippon Ham Group
人輝く、食の未来

◆豪州事業の抜本的改革プラン
～中核事業に資本を集中し、選択と集中で効率化を推進～

①コストリダクションの実施

・牛肥育事業　：　肥育日数の見直し、飼料の改善
・処理工場　：　製品歩留まりの改善、輸送費の削減、稼働率の向上
・皮革事業　：　在庫の適正化

これらの生産部門でのコスト削減策を継続し、通期で10%のコスト削減を図る。

②養豚事業撤退の検討

③皮革事業の収益性改善の推進

現在保有する3つの工場の再編を検討中。効率化を進める。

④農場の売却の検討

資産の圧縮のため、生産性の悪い素牛農場の見直しを図る。

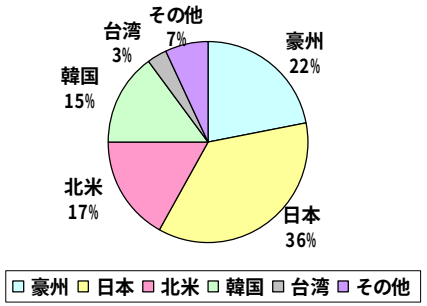
⑤販売先の拡大

新規マーケットの開拓や、北米、アジアを中心に販売先の拡大を図り、
利益確保につなげる。

⑥今後収益にプラスになる環境要因

・生体価格　：　生体の集荷競争に一服感が出ており、安定している。
・輸出価格　：　世界的な牛肉の需要増により、価格が高騰。

【09年3月期　豪州からの出荷先構成比見込み】



Nippon Ham Group
人輝く、食の未来

関連企業本部　課題と対策

●課題1. マリンフーズ　水産事業の課題

・原料調達力の強化
・全国の営業拠点（53ヶ所）にある、超低温冷凍庫の優位性を活用した、商品の差別化と営業力の強化

●対策
・安定的な原料調達体制を強化。
・自社の川上部門の構築。
・「超低温商品」シリーズを、2008年9月の展示会を契機に更なる商品化を図り、拡販していく。

●課題2. 宝幸　水産事業・乳製品事業の課題

（チーズ事業）
・乳製品原料の価格高騰への対応
・工場稼働率（特に西宮プラント）の改善

（水産事業）
・原料調達力の強化

●対策
（チーズ事業）
・プロセスチーズの価格改定を実施。
・フォマーゼの拡販。
・外食向けなど業務用商品を拡販し、西宮プラントの工場稼働率の向上を図る。

（水産事業）
・ロシア、ＥＵの水産原料を活用した三国間貿易の拡大。

●課題3. 日本ルナ　乳製品事業の課題

・乳製品原料の確保と価格高騰への対応
・事業拡大を視野に入れた経営

●対策
・海外を含む原料供給先の新規開拓。
・基幹商品「バニラヨーグルト」や、昨秋に投入後、好調な「脂肪0%シリーズ」を中心に、強い商品を集中的に拡販する。
・生産ラインの増設など、設備増強も含む戦略を検討する。

	2009年3月期見込み
水産原料上昇額	2億円
乳製品原料上昇額	15億円
合計	17億円

Nippon Ham Group
人輝く、食の未来

2008年3月期　期末財務データ

1. 販管費･その他収益･その他費用

2. 貸借対照表、設備投資額･減価償却費

3. 2008年3月期　期末連結業績指標

4. 2008年3月期　期末単体業績概要及び計画

Nippon Ham Group
人輝く、食の未来

連結業績概要（販管費・その他収益・その他費用）

（単位：百万円、%）

≪販管費≫	2007年3月期 期末実績	2008年3月期 期末実績	対前年増減率	対前年増減額
販売費及び一般管理費	171,065	171,793	0.4	728
人件費	71,254	72,750	2.1	1,496
販売促進費	16,760	14,360	△ 14.3	△ 2,400
物流費	34,530	35,354	2.4	824
その他	48,521	49,329	1.7	808

主な増減要因

・販管費は前期比約７億円の増加、販管費率は0.9ポイント減少。
　・人件費　：　一部子会社の退職給付金制度の変更などにより、前年比で約15億円の増加。
　・物流費　：　原油価格の高騰による運賃の増加などにより、前年比約8億円の増加。

（単位：百万円、%）

≪連結その他収益・その他費用≫	2007年3月期 期末実績	2008年3月期 期末実績	対前年増減率	対前年増減額
その他収益合計	2,102	1,025	△ 51.2	△ 1,077
受取利益・配当金	936	969	3.5	33
その他	1,166	56	△ 95.2	△ 1,110
支払利息	2,928	2,786	△ 4.8	△ 142
その他費用合計	1,928	10,807	460.5	8,879
有価証券評価、売却損	56	930	―	874
固定資産減損	436	2,714	522.5	2,278
特別退職金	312	3,472	―	3,160
為替差損	―	2,392	―	2,392
その他	1,124	1,299	15.6	175

主な増減要因

・その他費用　：　子会社への転籍などによる特別退職金、子会社の固定資産減損、株式相場の下落や為替相場の変動などにより、約89億円の増加となった。

Nippon Ham Group
人輝く、食の未来

連結業績概要（貸借対照表、設備投資額・減価償却費）

（単位：百万円、%）

≪連結貸借対照表≫	2007年3月期 期末実績	2008年3月期 期末実績	対前期末 増減率	対前期末 増減額
資産合計	612,933	608,809	△ 0.7	△ 4,124
現金及び現金同等物	34,482	44,249	28.3	9,767
売上債権	116,248	110,084	△ 5.3	△ 6,164
棚卸資産	114,638	112,218	△ 2.1	△ 2,420
投資及び長期債権	38,049	31,722	△ 16.6	△ 6,327
有形固定資産	257,591	246,874	△ 4.2	△ 10,717
長期繰延税金資産	13,394	12,954	△ 3.3	△ 440
負債合計（少数株主持分含む）	314,505	321,352	2.2	6,847
支払手形及び買掛金	94,021	87,296	△ 7.2	△ 6,725
有利子負債	171,211	183,539	7.2	12,328
退職金及び年金債務	12,919	14,299	10.7	1,380
資本合計	298,428	287,457	△ 3.7	△ 10,971

主な増減要因

- ・棚卸資産　：　食肉在庫等の減少により、約24億円減少。
- ・売上債権　：　前期末が金融機関休日であった影響等で約62億円減少。
- ・有利子負債　：　借入金の減少はあったが、普通社債の発行（300億円）などにより約123億円増加。

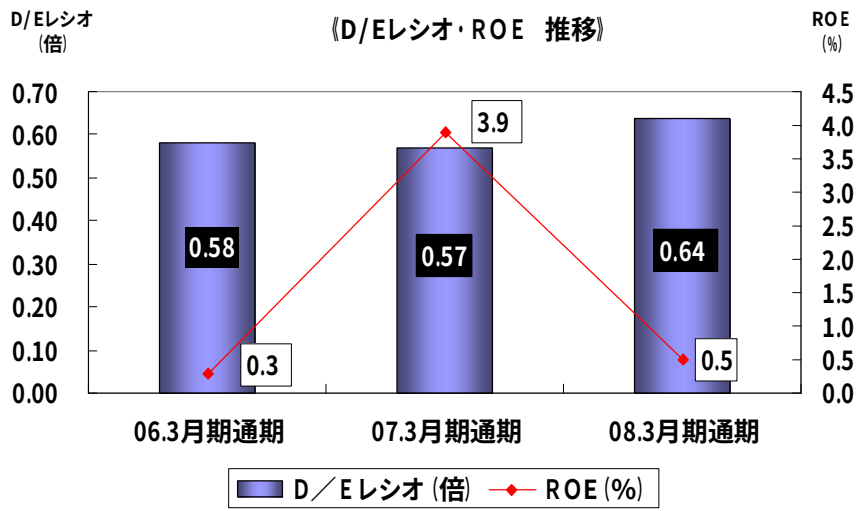
（単位：百万円、%）

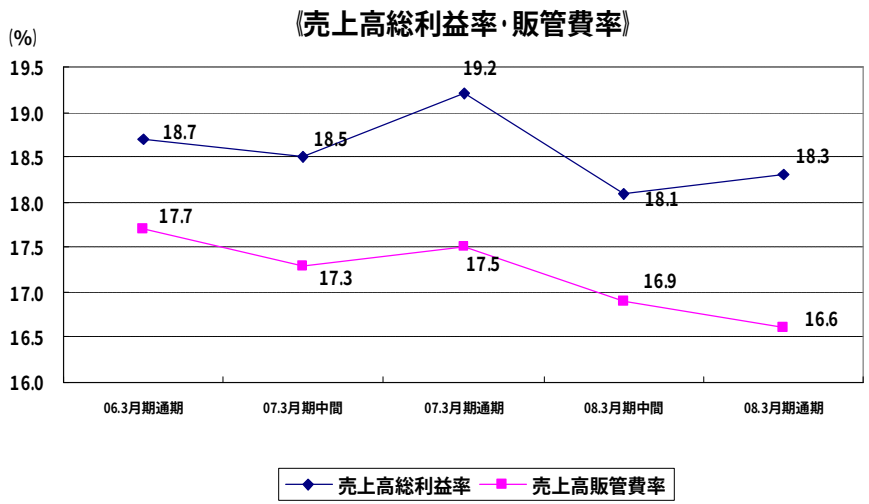
《設備投資額、減価償却費》	2007年3月期 通期実績	2008年3月期 通期実績	2008年3月期 対前年増減率	2008年3月期 対前年増減額	2009年3月期 通期計画
設備投資額	19,441	18,627	△ 4.2	△ 814	21,000
生産設備	6,259	6,807	8.8	548	8,400
販売・物流設備	1,818	1,566	△ 13.9	△ 252	3,400
ファーム・処理設備	3,905	4,088	4.7	183	2,900
海外事業設備	5,287	2,635	△ 50.2	△ 2,652	2,600
その他設備	2,172	3,531	62.6	1,359	3,700
減価償却費	22,975	23,939	4.2	964	24,000

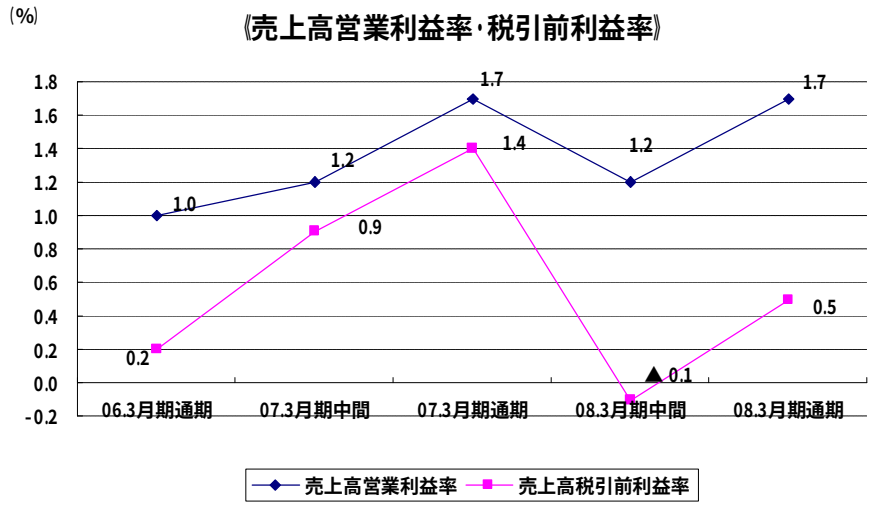
Nippon Ham Group 人輝く、食の未来

2008年3月期　期末連結業績指標

≪経営指標≫	2006年3月期 期末実績	2007年3月期 期末実績	2008年3月期 期末実績
売上高総利益率 (%)	18.7	19.2	18.3
売上高営業利益率 (%)	1.0	1.7	1.7
売上高税引前利益率 (%)	0.2	1.4	0.5
売上高当期純利益率 (%)	0.1	1.2	0.2
売上高原価率 (%)	81.3	80.8	81.7
売上高販管費率 (%)	17.7	17.5	16.6
総資産 (百万円)	591,426	612,933	608,809
株主資本 (百万円)	291,580	298,428	287,457
株主資本比率 (%)	49.3	48.7	47.2
一株当り株主資本 (円)	1,277.41	1,307.77	1,259.74
一株当り当期純利益 (円)	4.17	49.89	6.81
ROA (%)	0.4	2.3	0.8
ROE (%)	0.3	3.9	0.5
D／Eレシオ (倍)	0.58	0.57	0.64
≪キャッシュフロー≫ (単位：百万円)			
営業活動によるｷｬｯｼｭﾌﾛｰ	△ 21,207	33,364	29,109
投資活動によるｷｬｯｼｭﾌﾛｰ	△ 16,661	△ 19,740	△ 26,793
財務活動によるｷｬｯｼｭﾌﾛｰ	△ 1,745	△ 6,322	7,451
期末現金及び預金同等物残高	27,180	34,482	44,249







2008年3月期通期単体業績概要及び2009年3月期単体計画

（単位：百万円、%）

≪単体業績≫	2007年3月期実績			2008年3月期実績						2009年3月期計画			
	中間期	下期	通期	中間期	前年同期比	下期	前年同期比	通期	前年比	中間期	前年同期比	通期	前年比
売上高	305,288	314,457	619,745	324,942	6.4	337,898	7.5	662,840	7.0	330,000	1.6	675,000	1.8
ハム･ソーセージ	50,477	53,524	104,001	50,734	0.5	54,502	1.8	105,236	1.2	51,500	1.5	107,000	1.7
加工食品	68,397	67,939	136,336	68,298	△ 0.1	69,231	1.9	137,529	0.9	69,500	1.8	140,000	1.8
食肉ほか	186,414	192,994	379,408	205,910	10.5	214,165	11.0	420,075	10.7	209,000	1.5	428,000	1.9
牛肉	65,453	65,329	130,782	70,885	8.3	69,157	5.9	140,042	7.1	71,500	0.9	143,500	2.5
豚肉	72,768	74,315	147,083	80,032	10.0	81,820	10.1	161,852	10.0	82,500	3.1	167,000	3.2
鶏肉	37,242	41,858	79,100	43,946	18.0	51,974	24.2	95,920	21.3	43,500	△ 1.0	95,000	△ 1.0
その他	10,951	11,492	22,443	11,047	0.9	11,214	△ 2.4	22,261	△ 0.8	11,500	4.1	22,500	1.1
売上原価	272,274	277,195	549,469	290,775	6.8	299,911	8.2	590,686	7.5				
売上総利益	33,014	37,262	70,276	34,167	3.5	37,987	1.9	72,154	2.7				
販売費及び一般管理費	34,365	34,577	68,942	32,434	△ 5.6	34,847	0.8	67,281	△ 2.4				
営業利益	△ 1,351	2,685	1,334	1,733	-	3,140	16.9	4,873	265.3	2,000	15.4	5,000	2.6
経常利益	1,588	3,716	5,304	9,386	491.1	3,499	△ 5.8	12,885	142.9	4,500	△ 52.1	8,500	△ 34.0
当期純利益	374	1,195	1,569	4,190	1,020.3	1,513	26.6	5,703	263.5	2,000	△ 52.3	4,000	△ 29.9

※前年比は、対前年増減比で表示しております。

Nippon Ham Group
人輝く、食の未来

お問合せ先
〒141-6014　東京都品川区大崎2－1－1
ThinkPark Tower 14階
日本ハム株式会社 広報IR部
電話：03-6748-8024
FAX：03-6748-8189

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。
これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。
また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。
従って、これら業績見通しのみに全面的に依拠することはお控え頂きますようお願い致します。
また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

Nippon Ham Group
人輝く、食の未来